



学校だより No.4

日々新たに

尼崎市立日新中学校

平成29年7月19日発行

これからの環境教育

最近、ニュースで尼崎市が大きく取り上げられました。5月26日に、中国・広東省、広州市から尼崎市に運び込まれた貨物コンテナの中から、強い毒を持つ南米原産の「ヒアリ」が日本国内で初めて見つかったというものです。その後、神戸港、名古屋港、大阪港、東京港でも相次いで発見され、最近になって女王アリも確認されたことで、日本中が注目するニュースとなっています。

この「ヒアリ」は、「外来生物」の中でも特に、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの又は及ぼすおそれがある「特定外来生物」に指定されている生物です。さらに「ヒアリ」は、より危険度の高い「世界の侵略的外来種ワースト100」にも指定されています。この侵略的危険生物の侵入に、環境省を始め各自治体は、その繁殖と定着を水際で食い止めようと必死です。

ところで、世間を騒がせた外来生物として記憶に新しいのがセアカゴケグモです。この生物は、平成7年に大阪府高石市で初めて発見され、今回の「ヒアリ」のように大騒ぎになりました。最初、「セアカゴケグモ」は、オーストラリアや東南アジアの熱帯、亜熱帯に住むクモで、移動できる距離も小さく生息地域はそれほど広がらないだろうと考えられていました。ところが、生息域は広がり続け、平成27年には北海道でも見つかり、現在、沖縄県から北海道まで42都道府県で生息が確認されています。

「ヒアリ」や「セアカゴケグモ」のように、遠い外国の生き物が日本にやってきた理由は、世界の経済が発展し開発が進んだからです。経済発展にともない国と国との間の輸出入が増え輸送手段が発達した結果、外来生物が船や飛行機に積まれた荷物などに紛れ込み、日本に侵入してきたのです。また、亜熱帯などの温かい気候で育つ生物が日本でも定着し、生息域を拡大させていった理由については、まさしく温室効果ガス排出による「地球温暖化」の影響に他なりません。

この「特定外来生物」や「地球温暖化」の問題をはじめ、現在、地球上には、「環境汚染」、「気候変動」、「熱帯林の破壊」、「食料問題」、「資源・エネルギー」、「絶滅危惧種」、「感染症」といった地球規模の課題が山積しています。そして、これらの問題解決なしに、持続可能な社会を創造することは不可能です。この「持続可能な社会」の創造を具体的に推進する教育は、「ESD (Education for Sustainable Development)」と呼ばれています。翻訳すると「持続可能な開発のための教育」です。

「ESD」では、子ども一人一人が地球規模の課題を自分自身の課題として捉え、その問題解決の方法を模索し、考え出し、実践する能力・態度を身につけさせることが重要です。例えば、地球温暖化やエネルギー問題について学習した子どもが、今まで意識することのなかった使い捨ての習慣やエネルギーの無駄使いに問題意識を持ち、自分にできることはないかと考え、ペットボトルやアルミ缶のリサイクルや部屋の電気をこまめに消すことなどを実践するようになった。このように、知識を得ることだけにとどまらない、小さな意識改革（価値観）と実践（行動）こそが「ESD」が求めるものであると考えます。

持続可能な社会づくりの担い手を育むために、学校教育の担う役割は大変大きいといえます。我々教員はその役割を深く認識し、子どもたちに、この環境を守るために自分にできることはないかを考えさせ、実践させる環境教育を推進していかなければならないと考えます。

校長 宮田 聡

情報モラル教室

6月29日、尼崎少年サポートセンターと尼崎南警察署の職員の方をお招きし、全校生を対象に、情報モラル教室を開催しました。



講演では、LINE等で書き込みの意味の取り違いから起こるトラブルや、自分で公開した個人情報や投稿記事が、サイトやブログから削除してもネット上に残り続けるデジタルタトゥーの恐さ、出会い系サイトで簡単に相手を信用して出会うことの危険性などについてお話をいただきました。

昨年度、本校2年生の調査で、スマートフォンや携帯電話でメールやインターネットを利用する時間が2時間を超える生徒が34%ありました。

家庭でも是非、スマートフォンや携帯電話の利用における家庭内のルールづくりや子どもを守るためのフィルタリングの活用について、再度ご確認くださいませますようにお願いします。

生徒総会



6月30日に、生徒総会が行われました。全校生徒が体育館に集合して、昨年度の生徒会活動と生徒会予算の決算報告を受けた後、今年度の活動計画と生徒会予算、各委員会からの活動方針が示され、承認されました。

各クラスからの意見・要望では、代表生徒が発表しましたが、どの意見も学校生活を豊かに、楽しく、過ごしやすいしたいという願いからの意見でした。

生徒会活動で大切なことは、自分たちが、責任を持って行動することです。学校生活をより良く変えたいと願うだけに終わらず、自分たちの力でより良い学校生活を実現させるために「自分たちには、何ができるか」を考えることが重要です。

今回、生徒総会で議決された活動方針に従って、みんなが楽しく、過ごしやすい学校を、自分たちの手で作り上げていく「自治」を行ってほしいと願います。

BFC結団式

7月7日、全校を代表して1年2組の生徒に、BFC（少年消防クラブ）の結団式と防災訓練に参加してもらいました。BFCは、少年少女で結成されている自主的な防災組織です。

今回は、地震が起こったときの防災についてのDVDを見た後、尼崎北消防署の消防士の方に、角材2本と毛布1枚で簡易担架を作る方法を学び、実際に友達を搬送する訓練を行いました。

私たちの国は、毎年、台風、大雨、地震、火山噴火など様々な災害が起こっています。先日の九州北部を襲った豪雨でも、河川の氾濫や土砂崩れなどの大きな災害に見舞われ、被災地では懸命な救助・復旧活動が行われています。

BFCのクラブ員の人たちには、今後、身近で災害が起こったときに、今回の防災に関する研修・訓練を活かし、地域での防災や救助活動に、積極的に参加してくれることを期待しています。



☆ 頑張る日新中生！ ☆

●第71回尼崎市中学校総合体育大会

<剣道部> 男子団体戦 優勝

<水泳部>

男子100mバタフライ 第2位 2-4 瀧野 真

男子200mバタフライ 第2位 2-4 瀧野 真



●第61回阪神中学校総合体育大会

<陸上競技部>

共通男子 走高跳 第4位 3-5 岸田 一希

(県大会出場)

●第62回兵庫県小中学生書写コンクール

佳作 1-2 久保 尋斗, 佳作 2-3 阪本 佳奈

佳作 2-4 山本 弥希, 佳作 2-5 小坂田 夏希

佳作 2-5 川口 瑞稀, 佳作 3-5 川満 つかさ

8月の主な予定



命を大切に！ 時間を大切に！ 家族を大切に！
夏休みの35日間を、有意義に過ごしましょう！

月	火	水	木	金	土	日
	1 夏季休業日 チャレンジサマースクール	2 夏季休業日 チャレンジサマースクール	3 夏季休業日 チャレンジサマースクール	4 夏季休業日 チャレンジサマースクール	5	6
7 夏季休業日	8 夏季休業日	9 夏季休業日	10 夏季休業日	11 《山の日》 ●学校閉鎖	12	13
14 夏季休業日 ●学校閉鎖	15 夏季休業日 ●学校閉鎖	16 夏季休業日 ●学校閉鎖	17 夏季休業日 ●学校閉鎖	18 夏季休業日 チャレンジサマースクール	19	20
21 夏季休業日 チャレンジサマースクール ★登校日	22 夏季休業日 チャレンジサマースクール たそがれコンサート	23 夏季休業日 チャレンジサマースクール	24 夏季休業日 チャレンジサマースクール	25 ★始業式	26	27
28 朝学なし 45分×4 1,2年課題テスト	29 朝学なし 45分×4 1,2年課題テスト	30 朝学なし 45分×4 道,月234	31 朝学なし 45分×4 月56,水5,金5	市内学校・園では、8/11～8/17の期間、節電に伴う学校閉鎖を実施します。ご理解ください。		

<9月の主な予定> 9/1(金): 3年実力テスト 9/4(月)～9/25(月): 教育実習 9/26(火): 1年わくわくオーケストラ